

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ナノマテリアル・ナノフォトニクス融合による新しい光集積技術の創製
研究代表者	納富 雅也（日本電信電話株式会社NTT物性科学基礎研究所・ナノフォトニクスセンタ長）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、フォトニックダブルヘテロ構造共振器及びプラズモン共振器に様々なナノ物質を導入し、光と物質の相互作用を調べようとする提案である。アイデア自身はそれほど新規と言えないが、本研究グループは、技術的には世界有数のグループであるため着実に成果が期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p> <p>なお、現状の提案は、やや総花的に感じるところがあるため、1つの統一的な概念を生み出すよう努力してほしい。また、ナノ物質を、共振器に導入する際に、AFM等で1つ1つ操作する提案になっているが、この点が、将来的な応用を難しくすると懸念される。より現実的な手法の開拓を期待する。</p>